

## 平成30年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市少年自然の家 四日市市水沢市民広場
所在地	四日市市水沢町字大谷1423-2 四日市市水沢町252-63
指定管理者	名称 西武造園株式会社 代表者 取締役社長 大嶋 聡 住所 東京都豊島区南池袋一丁目16番15号
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、毎月開催する調整会議において、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握するとともに、指定管理者が実施する主催事業や自然教室については、市職員が適宜行うモニタリングや参加者アンケート等を基に改善点等を協議しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	こども未来部こども未来課青少年育成室 TEL：059-354-8247 E-mail：ikuseishitsu@city.yokkaichi.mie.jp

### ■ モニタリングの総合コメント

少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営状況については、集団宿泊訓練、野外活動、自然探求等を通じて心身ともに健全な青少年の育成を図る社会教育施設としての目的を十分に達成し、概ね事業計画に合致した管理運営が行われました。また、自然を活かした大門池でのカヤック体験や工作体験など民間のノウハウを活かした多様なプログラムを利用者に提供しました。さらに、平成30年度から新たな指定管理者に交代しましたが、大きな混乱もなく、指定管理者制度導入の趣旨である効果的・効率的な運営が引き続きなされています。

施設運営や利用者への対応については、施設利用者や主催事業の参加者にアンケートを実施し、直接、利用者からの声を聞き、改善点や要望、ニーズに応えるよう努力しています。また、教育委員会指導課開催の自然教室運営委員会の中でも、指導課・学校等からの意見や要望について、積極的に対応する姿勢が見られました。

また、周辺施設の環境学習情報センター、ふれあい牧場、スポーツランドと連携した4施設合同事業を年2回春と秋に実施したり、地域の祭り（もみじまつり等）や他の施設との共催事業、出前講座を開催したりすることで施設のPRに大きくつながっています。

施設の維持・管理については、施設の老朽化、経年劣化に伴う故障や保守点検での指摘等に対して、適切に修繕を行うなど良好であると判断します。

### ■ 今後の業務改善に向けた考え方

平成30年度主催事業については、市と連携した家庭の日応援プロジェクトや年間を通して行う主催事業、野外体験活動、自然素材を活用した工作教室など、施設周辺の恵まれた自然環境や民間のノウハウを活かした事業が開催されました。また、利用者からのアンケート結果における要望・意見を反映し、多くの市民が興味を持てるようなテーマや事業内容を検討し、主催事業等のさらなる充実を目指す姿が見られます。

平成30年度から指定管理者が変更となりましたが、これまでの利用者の高い満足度を維持しつつも、施設職員としての資質や接遇の向上はもとより、野外活動等に関して、より良い主催事業等が実施されるよう指導を行います。そして、利用者の視点に立った社会教育施設として効果的な運営を進めるため、毎月の連絡調整会議を通じて、確認及び指導を行います。

施設の老朽化の問題については、指定管理者と市が施設の現状を的確に把握し、利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう、計画的に施設修繕を行う必要があります。

## 基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

### 合目的性・公平性・効果性

少年自然の家条例・水沢市民広場の設置及び管理に関する条例及び仕様書に基づき適切に管理運営が行われました。利用の公平性・平等性の観点から、繁忙月（7月・8月）の利用については、公開抽選会を行うなど、公平性の確保に努めていました。また、ホームページ及び市広報の他、民間の子育て情報誌等を活用するなど、主催事業の広報活動に努めていました。

### 業務内容

#### 機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

大門池でのカヤック体験や趣向を凝らしたキャンプ活動など、自然を活用した体験活動を幅広く利用者に提供することができました。また、豊富な活動プログラムを準備し、天候や利用者の要望に応じて柔軟に活動を変更することで利用者のニーズに対応していました。また、季節に応じた主催事業や、幅広い年代が参加できるような活動の企画を実施し、指定管理者として独創性を発揮していました。

#### 責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

施設は、所長を中心に総務スタッフと指導スタッフで構成され、欠員が出た時期もありますが、運営は概ね適切にされていました。毎朝の朝礼で緊急時体制の確認、引継事項の確認等を行うとともに、月1回以上の職員会議において、主催事業の企画や反省、修繕箇所への対応、安全管理、ヒヤリハット報告と対応策等を協議していました。また、主催事業や施設維持管理に必要な技能習得のために必要な研修（カヤック研修や草刈り機取扱作業衛生教育研修等）を受講し、安全安心な施設の運営に努めていました。

#### 明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

施設利用料の収入、給食業務受託者が使用する電気代・水道代の請求及び収入、人件費及び管理費等の支出については、定期的に事業報告及び連絡調整会議において領収書・経理簿等で確認しました。施設の保守点検等の報告書類も作成・整備され、適切に処理されていました。

#### 安全性（安全管理、緊急時等の対応）

危機管理マニュアル及び四日市市・少年自然の家・西武造園株式会社との緊急連絡体制表を作成しました。そして、感染症対応マニュアルやカヤックの安全基準指導マニュアルを作成し、適切に対応していました。また、消防計画を作成し、消防訓練・避難訓練・救急救命研修を適切に実施していました。各種警報等の発令時には、利用者等に対して迅速に周知するなど適切に対処していました。

#### 社会性（環境等への配慮）

利用者が出したゴミは原則持ち帰りであることを利用者に周知し、協力を依頼するなどゴミの減量に努めていました。野外炊事やキャンプファイア等での薪の使用についても、適量での使用を呼びかけるなど環境に配慮するとともに、施設内においても、節電・節水を心がけていました。

### 事業収支

#### 経済性

指定管理導入年度（平成25年度）から実施している開館日数を維持し、主催事業を創意工夫したが、市内の中学校の自然教室の日程が減ったことと、冬季に工事を行ったため宿泊の受け入れができなかったことから、利用料金収入及び自主事業収入で当初計画より約600万円の減となり、同様の理由などから支出は約700万円の減となり、収支としては約90万円の黒字となりました。

### 団体の経営状態

#### 経営の健全性

貸借対照表、損益計算書等を分析した結果、経営は安定しており、特に問題はないと判断しました。

### その他

#### 障害者雇用に対する取組み

法人における障害者雇用率は1.72%であり、法定雇用率を達成できませんでした。障害者雇用率を達成できるように働きかけていきます。

# 施設概要調書

## 1. 施設の概要

平成30年度

施設名	四日市市少年自然の家		所管課: こども未来部こども未来課 青少年育成室
所在地	四日市市水沢町字大谷1423-2		設置年月: 本館 昭和62年11月8日 分館 昭和48年7月31日
設置目的	豊かな自然の中で集団宿泊訓練、自然探求等を通じて、規律、協同、友愛、奉仕の精神を養い、心身ともに健全な青少年の育成を図る。		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市少年自然の家条例(昭和62年3月31日条例第22号)		
施設の概要	敷地面積 (㎡)	392,682㎡	
		延床面積 (㎡)	本館3,066㎡ 分館1,339㎡
	設備の概要	<p>本館 構造: 鉄筋コンクリート(地上3階、地下1階) 宿泊定員177人</p> <p>1階 事務室、医務室、会議室、浴室、総合研修兼体育館等</p> <p>2階 宿泊室、食堂、リーダー室等</p> <p>3階 宿泊室、研修室、リーダー室等</p> <p>分館 構造: 鉄筋コンクリート2階建 宿泊定員101人</p> <p>1階 研修室、大広間、創作室、乾燥室、リーダー室等</p> <p>2階 宿泊室、講義室、リーダー室等</p> <p>キャンプ場、野外炊事場、ふれあいの森、自然の家駐車場</p>	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営に関する業務。</li> <li>少年自然の家及び水沢市民広場の使用許可及び受入等に関する事。</li> <li>少年自然の家における主催事業の実施に関する事。</li> <li>少年自然の家の利用料金の徴収等に関する事。</li> <li>少年自然の家及び水沢市民広場の施設並びに付属施設や設備の維持管理に関する事。</li> <li>その他、少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営に関して四日市市及び教育委員会が必要と認めた事。</li> </ul>		

## 2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	
			計画対比
開館日数	357日	357日	計画通り
開館時間	8:30~17:30	8:30~17:30	計画通り

## 3. 利用実績

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)	
				計画対比
延べ利用者数		50,000人	52,848人	2,848人
平均利用率	平均	140.0人/日	148.0人/日	8.0人/日

## 4. 事業収支

(単位:円)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
指定管理料	84,240,000	84,240,000	0
利用料金	27,000,000	21,485,815	△ 5,514,185
事業収入	2,700,000	2,120,899	△ 579,101
その他	673,920	711,701	37,781
収入計	114,613,920	108,558,415	△ 6,055,505
人件費	52,671,960	46,766,890	△ 5,905,070
管理費	49,420,440	47,259,374	△ 2,161,066
消耗品費	3,570,480	4,162,193	591,713
燃料費	2,643,840	2,939,745	295,905
印刷製本費	1,500,000	2,149,924	649,924
光熱水費	8,910,000	6,509,445	△ 2,400,555
修繕料	3,386,000	3,618,486	232,486
通信運搬費	1,222,320	1,174,618	△ 47,702
広告料	526,000	492,735	△ 33,265
手数料	20,000	18,252	△ 1,748
保険料	544,000	562,050	18,050
委託料	22,719,960	20,789,817	△ 1,930,143
賃借料	3,123,360	3,257,443	134,083
その他	1,254,480	1,584,666	330,186
事業費 (ソフト事業等)	3,942,000	5,052,644	1,110,644
一般管理費	8,579,520	8,579,520	0
支出計	114,613,920	107,658,428	△ 6,955,492
収 支	0	899,987	899,987

# 施設概要調書

## 1. 施設の概要

平成30年度

施設名	四日市市水沢市民広場		所管課：こども未来部こども未来課 青少年育成室
所在地	四日市市水沢町252-63		設置年月：平成 4年10月11日
設置目的	市民がスポーツ及びレクリエーションに親しむことができる場を提供し、もって市民の健康で明るく豊かな生活の形成に寄与する。		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市水沢市民広場の設置及び管理に関する条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (㎡)	23,129㎡
		延床面積 (㎡)	—————
		芝生広場 東屋、トイレ、水沢市民広場駐車場	
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営に関する業務。</li> <li>少年自然の家及び水沢市民広場の使用許可及び受入等に関すること。</li> <li>少年自然の家における主催事業の実施に関すること。</li> <li>少年自然の家の利用料金の徴収等に関すること。</li> <li>少年自然の家及び水沢市民広場の施設並びに付属施設や設備の維持管理に関すること。</li> <li>その他、少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営に関して四日市市及び教育委員会が必要と認めたこと。</li> </ul>	

## 2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	
			計画対比
開館日数	365日	365日	—
開館時間	設定なし	設定なし	—

## 3. 利用実績

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)	
				計画対比
延べ利用者数		20,000人	21,158人	1,158人
平均利用率	平均	54.8人/日	58.0人/日	3.2人/日

## 4. 事業収支 (少年自然の家概要調書を含む)

平成30年度 四日市市少年自然の家 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	357日	357日	計画通り	適正に執行された	適
開館時間	8:30~17:30	8:30~17:30	計画通り	利用者がある場合、その活動時間に応じて対応する等、適正に執行された	適
事業開催(回)	55	54	△ 1	1回中止になったが、それ以外は適正に執行された。	適

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
延べ利用団体数	400	383	△ 17	適正に執行された	適	
延べ利用者数	50,000	52,848	2,848	適正に執行された	適	
団体種別 利用人数	自然教室等(学校利用)	14,000	18,982	4,982	適正に執行された	適
	青少年・一般・その他	17,000	15,906	△ 1,094	適正に執行された	適
	主催事業	19,000	17,960	△ 1,040	適正に執行された	適
稼働率(平均)	140.0人/日	148.0人/日	8.0人/日	適正に執行された	適	

3. 事業収支

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
利用料金収入	27,000,000	21,485,815	△ 5,514,185	市内の中学校の自然教室が、2泊3日から1泊2日に変更になったことと、12月、1月に工事があり宿泊の受け入れができなかったため減少した。	適
指定管理料	84,240,000	84,240,000	0		適
自主事業収入	2,700,000	2,120,899	△ 579,101		適
その他収入	673,920	711,701	37,781		適
収入計	114,613,920	108,558,415	△ 6,055,505		適
人件費	52,671,960	46,766,890	△ 5,905,070	人件費 ・正職員8名、臨時職員6名仕様書どおり勤務し、正職員2名が2か月、1名が6か月欠員となっていた時期もあったが、概ね適正な運営ができた。	適
管理費	49,420,440	47,259,374	△ 2,161,066		適
消耗品費	3,570,480	4,162,193	591,713	消耗品費 ・創作活動の物品をそろえたため増加。	適
燃料費	2,643,840	2,939,745	295,905	印刷製本費 ・チラシ作成を業者に外注したため増加。	適
印刷製本費	1,500,000	2,149,924	649,924	光熱水費 ・職員の努力による節電、節水、電気のLED化と12月、1月の宿泊者減による減少。	適
光熱水費	8,910,000	6,509,445	△ 2,400,555	委託料 ・12月、1月の宿泊者減によるリネンクリーニング代の減少	適
修繕料	3,386,000	3,618,486	232,486	・遊具の点検経費が不要になったため減少。	適
通信運搬費	1,222,320	1,174,618	△ 47,702	事業費 ・主催事業の経費が増加。各事業にジュニアスタッフやサポートスタッフを配置し、事業の円滑な進行、利用者の安全安心に努めた。	適
広告料	526,000	492,735	△ 33,265		適
手数料	20,000	18,252	△ 1,748		適
保険料	544,000	562,050	18,050		適
委託料	22,719,960	20,789,817	△ 1,930,143		適
賃借料	3,123,360	3,257,443	134,083		適
その他	1,254,480	1,584,666	330,186		適
事業費(ソフト事業等)	3,942,000	5,052,644	1,110,644		適
一般管理費	8,579,520	8,579,520	0		適
支出計	114,613,920	107,658,428	△ 6,955,492		適
収支	0	899,987	899,987		適

総合コメント

市民への周知・PRや利用者の拡大及びリピート利用に向けての働きかけが実を結び、利用者は昨年より減少していますが5万人を超えています。収入については、市内中学校の自然教室の日数削減と冬季の工事により利用料金収入及び自主事業収入が当初計画より約600万円減少しました。支出については、それに伴い光熱水費及び委託料の減少、人件費においても欠員が出たことによる減少があり、約700万円減少し、収支としては約90万円の黒字となりました。

平成30年度 少年自然の家及び水沢市民広場 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
利用実績		<p>少年自然の家利用者は52,848人（水沢市民広場を利用した人は21,158人）となり、目標の50,000人を上回りました。主な要因としては、次の3点が考えられます。</p> <p>①指定管理導入時の平成25年度から実施してきた年末年始の期間を除く全ての期間の開館が利用者に定着したこと。</p> <p>②利用者の声にしっかりと耳を傾け、ニーズに対応した事業や体験活動を実施していること。</p> <p>③自然の家職員の利用者への対応やサービスに対する評価が高いこと。</p> <p>また、利用者の満足度は97%と高い評価を受けています。さらに安全・安心に活動してもらえるように、イベントについて専門家を講師として招いたり、ジュニアスタッフ等のサポートスタッフと協働して運営に取り組んでいる姿勢が高く評価できます。</p>	適
事業 収支	収入	<p>市内の中学校の自然教室が2泊3日から1泊2日に変更したことと12月、1月に工事をを行い宿泊の受け入れができなかったことがあり当初の計画より減少しました。</p>	適
	支出	<p>人件費が計画より支出減となりました。これは、職員の急な退職等により、職員が欠員になっている時期があったことによるものです。このことから職員間の連携不足等になり、利用者の事前打ち合わせ時に不備等がありましたが、運営は概ね適切に行われました。</p> <p>また、自然教室の日程変更と12月、1月の工事の影響から委託料、光熱水費が減少しています。</p>	適 (条)

平成30年度 少年自然の家及び水沢市民広場 業務の履行状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	業務従業者の要件等	業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか	書面確認	適正に実施されている	適
	法令等の遵守	法令等で定められた書類を提出したか	書面確認	適正に実施されている	適
	報告書等の提出	各業務計画書・報告書は提出されたか	書面確認	適正に実施されている	適
		自主事業の計画書・報告書は提出されたか	書面確認	適正に実施されている	適
		収支予算書・決算書は提出されたか	書面確認	適正に実施されている	適
	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	現地確認	連絡調整会議、電話、メール等にて十分に情報共有が行われている	適
	各種管理記録等の整備保管	各種業務計画書が整備、保管されているか	書面確認	適正に整備・保管されている	適
		業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか	書面確認	適正に整備・保管されている	適
		整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで）	書面確認	適正に整備・保管されている	適
		付保している保険を市に通知しているか（更新を含む）	書面確認	適正に通知されている	適
非常時・緊急時の対応	緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか	書面確認	適正に整備・保管されている	適	
	緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか	現地確認 書面確認	緊急時に備える体制は整えられている	適	
建築物保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	建築定期点検を実施している	適
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	書面確認	適正に実施されている	適
設備保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	現地確認	適正に整備・保管されている	適
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	建築設備・昇降機・消防用設備・防火対象物点検を実施している	適
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	書面確認	適正に実施されている	適
備品・什器等保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	現地確認	適正に整備・保管されている	適
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	適正に実施されている	適
外構施設保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	適正に実施されている	適
清掃業務	清掃	清掃は確実に実行されているか	書面確認 現地確認	適正に実施されている	適
警備業務	業務等	業務が計画書に基づいて実施されているか	書面確認 現地確認	適正に実施されている	適
		不審者に対し適宜質問をしたり、警察へ通報する等のマニュアルを作成しているか	書面確認	適切に実施されている	適
	鍵管理	マスターキー等の管理は適切か	現地確認	適切に実施されている	適
	防災	マニュアルは作成されているか	書面確認	適切に実施されている	適
植物育成管理業務	樹木管理	剪定時期等は適切か	書面確認 現地確認	適切に実施されている	適
	花壇管理	四季の植栽は適切か	現地確認	適切に実施されている	適
施設利用案内	行事開催案内	パンフレット類は整備されているか	現地確認	適切に整備されている	適
	ホームページ作成	ホームページは更新されているか	ホームページ確認	随時確認 適切に更新されている	適
管理システム受付業務	機器管理	研修を実施しているか	—	—	—
	システム管理	更新・変更は常になされているか	—	—	—
		トラブルに対応したか	—	—	—

総合コメント  
 法令の規定及び仕様書で定めた書類の提出及び経理簿、保守点検の結果等適正に処理されていました。  
 連絡調整会議では、毎月の利用状況、収支、職員の配置体制、保守点検の結果及び利用者アンケートの結果、翌月の主催事業計画について協議・確認を行い、適正に処理していることを確認しました。



平成30年度 少年自然の家 自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
1 平成30年4月8日(日) ジュニアスタッフ研修①	対象：ジュニアスタッフ登録者 参加者固定：65人 期間：日帰り	登録者数：65人 参加者数：48人 ・レクリエーション研修 ・野外炊事研修 ・マナー研修	人材育成を目的としたプログラムである。昨年度のRED隊を終了した子ども達がジュニアスタッフとなるための研修である。自然の家の主催事業などをサポートできる体制がとれるように研修されていた。	適
2 平成30年4月15日(日) 家庭の日応援プロジェクト 4月	対象：家族・一般 募集人数：なし 期間：日帰り	参加者数：13人 ・野鳥観察 ・ツリーハウス登頂体験 ・キーホルダー作り	天気が影響し、野鳥が来ず、観察に適さない時期であった。家族対象の事業においては内容が不向きであったと考えられる。次回からは内容を見直し、体験をメインに企画し、家族がふれあえる企画を検討すること。	適(条)
3 平成30年4月21日(土) 22日(日) 春のワクワクふれあいまつり	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り2日間 4施設合同イベント	参加者数：のべ4,705人 21日：940人 22日：3,765人 ・遊び体験コーナー ・模擬店	近隣4施設で毎年恒例の事業が行われた。小学校の土曜授業と重なり、土曜日の参加者が少なかったが、日曜日は天気も良く、たくさんの方の参加に来ていただき、いろいろな体験を楽しむことができた。	適
4 平成30年4月29日(日) RED隊①	対象：小4～小6 募集人数：40人 期間：日帰り	応募者数：46人 参加者数：41人 ・入隊式 ・交流会 ・竹箸作り	こちらも毎年恒例の人材育成事業である。ジュニア・サポートスタッフともたくさんの方の参加があり、参加者に対するフォローが適切に行われていた。	適
5 平成30年5月3日(木)～5月4日(金) まるごと自然の家(指導者養成)	対象：サポートスタッフ登録者 参加者固定：27人 期間：1泊2日	登録者数：27人 参加者数：10人 ・レクリエーション研修 ・野外炊事研修 ・キャンプファイヤー研修 ・カヤック研修	前年度と同じメンバーで、参加者数も少ないながら、ジュニアスタッフより踏み込んだ指導や研修を行うことができた。初めてのことを行い、失敗したらフォローできる体制を確認していた。	適
6 平成30年5月13日(日) ちびっこディキャンプ①	対象：小1～小3 募集人数：30人 期間：日帰り	応募者数：124人 参加者数：32人 ・テント遊び ・マッチの練習・野外炊事 ・ネイチャーゲーム	昨年度からの継続事業であるが、毎回人気が高く、今回も応募率が高いものである。小さなうちにいろいろな体験をさせたというニーズに合った事業である。	適
7 平成30年5月20日(日) 家庭の日応援プロジェクト 5月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：174人 ・お茶摘み体験 ・茶娘衣装体験 ・茶もみ体験	ジュニアスタッフを多く配置し、多くの参加者に目配りができた。市外からのお客様もみえ、広報が周知されていることが分かった。	適
8 平成30年5月27日(日) 親子でカヤック①	対象：家族・一般 募集人数：120人 (各回20組40人 3回) 期間：日帰り	応募者数：202人 参加者数：140人 ・カヤック体験	自然の家の目玉事業のカヤックを1時間ずつ4回に分けて実施した。気温が高く、熱中症予防として、水分補給ができるようにし、参加者の安全性を高めていた。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
9 平成30年6月2日(土)～3日(日) RED隊②	対象：小4～小6 募集人数：40人 期間：1泊2日	応募者数：46人 参加者数：44人 ・初めてキャンプ ・テント設営、ナイトハイク ・野外炊事	隊員の中には初めてキャンプを行う子どもが多かったため、ジュニアスタッフやサポートスタッフが適切に隊員をサポートし、円滑な運営を行っていた。	適
10 平成30年6月10日(日) ちびっこディキャンプ②	対象：小1～小3 募集人数：30人 期間：日帰り	応募者数：168人 参加者数：28人 ・テント遊び ・マッチの練習・野外炊事 ・キーホルダー作り	昨年度からの継続事業であるが、毎回人気が高く、今回も応募率が高いものである。小さなうちにいろいろな体験をさせたいというニーズに合った事業である。	適
11 平成30年6月17日(日) 家庭の日応援プロジェクト 6月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：182人 ・お茶摘み体験 ・天ぷら試食、茶工場見学	ジュニアスタッフを多く配置し、多くの参加者に目配りができた。星の広場から会場が少し離れていたため、当日の輸送手段変更など職員とスタッフの下打合せの不足が感じられる。	適(条)
12 平成30年6月23日(土)～24日(日) わくわく自然探検隊	対象：小3～中学生 募集人数：40人 期間：1泊2日	応募者数：53人 参加者数：51人 ・水生生物トラップづくり ・内部川の水生生物調査	昨年度からの継続事業である。1日目は天候が悪く、川の生き物調査ができなかったが、雨プログラムで対応し、参加者の満足度が高く終了できた事業であった。	適
13 平成30年7月7日(土)～8日(日) RED隊③	対象：小4～小6 募集人数：40人 期間：日帰り	応募者数：46人 参加者数：39人 ・カヤック体験 ・缶バッジ作り ・野外炊事	2日とも、雨が降り、テント泊の予定がなくなったが、その分、メンバーと交流する体験を行い、プログラムをこなしていた。	適
14 平成30年7月14日(土) 親子でカヤック②	対象：家族・一般 募集人数：120人 (各回20組40人 3回) 期間：日帰り	応募者数：106人 参加者数：96人 ・カヤック体験	参加者が少なく、比較的のんびりと実施することができた。その反面、施設側の受け入れ準備不足で駐車場の誘導や案内に不足があった。定員割れが起きたことで、次年度から日程の再検討を求めたい	適(条)
15 平成30年7月15日(日) 家庭の日応援プロジェクト 7月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：904人 ・マスクかみ体験 ・小川の生き物観察 ・ツリーハウス登頂体験	天気に恵まれ、早い時間から来場者が多く一部のイベントは前倒しで進んでいた。マスクかみは絶えず行列ができていたが、短いスパンで人の入れ替えを行い待ち時間を少なくすることに努めていた。	適
16 平成30年7月16日(月) 親子でカヤック③	対象：家族・一般 募集人数：120人 (各回20組40人 3回) 期間：日帰り	応募者数：180人 参加者数：146人 ・カヤック体験	前回の反省を踏まえて、駐車場案内からスタッフが手際よく対応していたため、満足度が高かった。熱中症対策にお茶も用意し、利用者の安全につとめていた。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
17 平成30年8月7日(火) アウトドアセミナー①	対象：市内の小中学校教諭 募集人数：40人 期間：日帰り	応募者数：18人 参加者数：18人 ・野外炊事 (理論と実技)	教育委員会事務局指導課との連携事業で、若手教員のための研修会である。経験の少ない野外炊事の指導の仕方を実技を通して、自然の家の職員が行った。青少年の健全育成の担い手である教員に対して、自然の家の果たす役割が大きいのと感じた。	適
18 平成30年8月7日(火) アウトドアセミナー②	対象：市内の小中学校教諭 募集人数：40人 期間：日帰り	応募者数：14人 参加者数：14人 ・カヤック体験、ラジオ体操 (理論と実技)		適
19 平成30年8月9日(木) 親子でカヤック④	対象：家族・一般 募集人数：120人 (各回20組40人 3回) 期間：日帰り	応募者数：107人 参加者数：66人 ・カヤック体験	平日に設定したためか、応募者が少なかつたうえに、高温注意情報が発令され、当日キャンセルが相次ぎ、参加者人数も少なくなった。お茶を用意し熱中症対策を行っていたが、日程の再考を検討されたい。	適(条)
20 平成30年8月18日(土) 親子でカヤック⑤	対象：家族・一般 募集人数：120人 (各回20組40人 3回) 期間：日帰り	応募者数：184人 参加者数：136人 ・カヤック体験	前回に比べ、天候も良く、参加者数も倍になったため、ライフジャケットの不足や子ども用のパドルの購入が必要となることが判明したので適切に対応してもらいたい。	適
21 平成30年8月19日(日) 家庭の日応援プロジェクト8月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：531人 ・マスカミ体験 ・小川の生き物観察 ・ツリーハウス登頂体験 ・木の缶パッチ作り	前回に比べ、来場者は少なかつたが、マスカミはリピーターも多く人気のある事業であることが分かった。今回はツリーハウス周辺をメイン会場とし、各ブースの参加者が多く、楽しんでいた。	適
22 平成30年8月21日(火) ～23日(木) 夏を楽しもう!キャンプ	対象：小4～中学生 募集人数：40人 期間：2泊3日	応募者数：34人 参加者数：33人 ・野外炊事 ・キャンプファイヤー ・カヤック体験 ・体育館レク	台風接近による大雨や強風が予想されたため、テント泊を中止したり、プログラムを子どもたちの様子に合わせて変更するなど、スタッフのきめ細やかな対応に満足度の高い事業となった。	適
23 平成30年9月2日(日) 自然の家のオープンデー	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：274人 ・謎解きゲーム ・木の工作 ・自然の家の創作活動	今回はこの企画の準備や広報期間が短く、それでも274人の参加者があったことはホームページを見て参加したことをうかがわせる。次回からは下準備を早くから始め、充実した事業になることを期待したい	適
24 平成30年9月8日(土) 野外映画祭in星の広場	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：120人 ・家族向け映画の上映	当日、天候不良と予想されたため、ホームページ上で早めに場所変更を広報し、大きな混乱はなかつた。参加者の満足度は高く、新たな事業としての足固めができたと思われる。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
25 平成30年9月9日(日) RED隊④	対象：小4～小6 募集人数：40人 期間：日帰り	応募者数：46人 参加者数：40人 ・カヤック体験 ・マイハンコ作り ・野外炊事	カヤック体験も2度目のため、準備・撤収が素早くできるようになった。活動時間を意識し、対応できるようになってきたため、隊員の成長が感じられる内容となった。	適
26 平成30年9月16日(日) 家庭の日応援プロジェクト9月	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：69人 ・グラウンドゴルフ ・サッカー教室 ・ネイチャークラフト ・輪投げ	天候不良が続き、当日も星の広場の芝生が濡れた状況の中、開催した。参加者も少なかったが、その分プログラムをゆっくりに楽しむことができていた。	適
27 平成30年9月22日(土)～23日(日) 家族でキャンプ(テント泊)	対象：家族 募集人数：40人 期間：1泊2日	応募者数：66人 参加者数：51人 ・テント設営 ・まさわり体験、野外炊事 ・焼き衫作り	今回は家族で触れ合う時間を多く取れる内容であったので、ゆっくりにできたという感想とともに利用者に対するスタッフの説明不足や、タイムマネジメント管理ができていなかったの、次回に期待したい。	適
28 平成30年9月29日(土)、30日(日) 秋のワクワクふれあいまつり	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：503人 ・ステージイベント ・自然の家の創作活動	台風接近に伴い、両日星の広場会場を中止し、自然の家で行った。雨天の体育館下でのステージは、ゆったり観覧できるように工夫されており、おおむね好評であった。	適
29 平成30年10月6日(土) アウトドアクッキング	対象：家族・一般 募集人数：60人 15組 期間：日帰り	応募者数：338人 参加者数：70人 ・鶏の丸焼き、ピザづくり	雨天の中の開催となったが、準備物のアナウンスやピザを焼く段取りなど細かな点で配慮不足を感じられる部分があったが、利用者からはおおむね好評であった。	適
30 平成30年10月7日(日) ジュニアスタッフ研修②	対象：ジュニアスタッフ登録者 参加者固定：66人 期間：日帰り	登録者数：66人 参加者数：10人 ・イベントの企画・運営方法の打ち合わせ ・野外炊事 ・準備物制作	10月のイベントの企画・準備を行ったが、参加人数が、少ない人数なりに新たな遊びを企画し、準備を行っていた。名ばかりのジュニアスタッフにならないような働きかけが必要と思われる。	適
31 平成30年10月7日(日)～8日(月) 山のぼり隊	対象：小4～中3 募集人数：24人 期間：1泊2日	応募者数：29人 参加者数：29人 ・御在所岳登山	高校の山岳部顧問と部員にボランティア協力を依頼し、きめ細やかなサポートを行っていた。天候に恵まれ、大きな混乱もなく、安全に十分な配慮を行い、実施できた。	適
32 平成30年10月14日(日) ちびっこ隊1/3	対象：小1～小3 募集人数：30人 期間：日帰り	応募者数：81人 参加者数：40人 ・森探検 ・葉っぱのしおりづくり ・ネイチャーゲーム	昨年度からの継続事業であるが、毎回人気が高く、今回も応募率が高いものである。小さいうちから自然に触れさせ、工作活動などを行える事業である。	適
33 平成30年10月21日(日) 家庭の日応援プロジェクト10月 子ども体験遊びリンピック	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：192人 ・コイン入れゲーム ・10秒チャレンジ ・カウンターチャレンジ ・缶つまチャレンジ	天気に恵まれ、午後からも参加者が増加し、様々な遊びを楽しんでもらうことができた。ジュニアスタッフの中には、接客に不得手な子がいたため、接客対応を研修に入れることも検討すると良い。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
34 平成30年11月10日(土)～11日(日) RED隊⑥里山体験	対象：小4～小6 募集人数：40人 期間：日帰り	応募者数：46人 参加者数：36人 ・里山保全活動 ・木の工作 ・野外炊事	里山保全活動や木の工作を行うことにより、子どもたちが自然物に親しむ活動が積極的に行われた。のこぎりなどの刃物に対しても、自分たちで気を付けることができていた。	適
35 平成30年11月18日(日) 家庭の日応援プロジェクト11月 創作の秋を楽しもう	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：44人 ・ネイチャークラフト ・葉っぱのブローチ作り	天候は良かったが、市内の小学生が授業参観日にあたっていたことから、参加人数が当初の見込みより少なかった。その分、参加者に寄り添ったきめ細かいサービスを提供していた。	適
36 平成30年11月24日(土) ちびっこ隊2/3	対象：小1～小3 募集人数：30人 期間：日帰り	応募者数：81人 参加者数：37人 ・火起こし体験 ・やさいもつくり ・小枝のストラップ作り	前回の継続メンバーのため、すぐに活動に入れた。自分たちで準備し片づけを行うことを目的に活動に取り組み、子どもたちもきちんとできていた。	適
37 平成30年11月25日(日) もみじ祭り歩こう会	対象：家族・一般 募集人数：なし ※もみじ祭り実行委員会が募集 期間：日帰り	参加人数：104人 ・少年自然の家からふれあい牧場経由で宮妻峡までのウォーキング	職員が先頭・中・最後尾にいて、参加者のペースに合わせて一緒にゴールまで歩いていた。参加者が景色や会話を楽しみながら、安全にゴールできるよう、無線で連絡を取り合いながら地元のイベントに貢献していた。	適
38 平成30年12月2日(日) クリスマスリース作り	対象：家族・一般 募集人数：20グループ 40人 期間：日帰り	応募者数：222人 参加者数：54人 ・クリスマスリースづくり ・ランタンキャンドルづくり	自然物のつるや木のみを使い、リースを作り、家族で話し合いながらリースづくりができていた。利用者アンケートも好評で、人気のある事業であった。	適
39 平成30年12月9日(日) ちびっこ隊3/3	対象：小1～小3 募集人数：30人 期間：日帰り	応募者数：37人 参加者数：40人 ・火起こし体験 ・野外炊事 ・キャンプファイアー	前回の継続メンバーのため、すぐに活動に入れていた。参加者全員が自分で火を起こせるよう配慮し、自信をつけさせた。最後ということで保護者への報告会を行うことで、成長を実感できた。	適
40 平成30年12月16日(日) 家庭の日応援プロジェクト12月 ミュージックベルとクラフトでクリスマス	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：171人 ・ミュージックベル体験 ・クラフトづくり 松ぼっくりツリー ミニリース	天気も良く、クラフトも自由に創作できるということで、家族が気ままに楽しんでいた。アンケートの満足度も高かったが、ジュニアスタッフが手持無沙汰となった事があり、今後の対応が必要。	適
41 平成30年12月22日(土) 手作りミニ門松作り	対象：家族・一般 募集人数：80人 期間：日帰り	応募者数：436人 参加者数：136人 ・ミニ門松づくり	クリスマスリース作りとともに人気のある事業で、家族やグループで一对のミニ門松づくりを楽しんでいた。利用者アンケートも好評で、次年度にも継続してほしい事業である。	適
42 平成30年12月23日(日) RED隊⑥クリスマスパーティー	対象：小4～小6 募集人数：40人 期間：日帰り	応募者数：46人 参加者数：41人 ・野外炊事 ・レクリエーション	5班に分かれて、それぞれの班ごとに80人分の料理を作った。それぞれが協力して、時間に間に合うように作ることができ、次回の目標も考えることができた事業であった。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
43 平成31年1月13日(日) プチサバイバルキャンプ	対象：小4～中学生 募集人数：40人 期間：日帰り	応募者数：54人 参加者数：39人 ・起震車体験 ・食器づくり ・消火器体験	防災をテーマに行ったが、時間配分により一部予定を変更して事業を実施した。参加者の満足度は十分でなかった。時間配分に気を配り、予定通り運営ができるように対処が必要であった。	適 (条)
44 平成31年1月20日(日) 家庭の日応援プロジェクト1月 臼と杵でつくお餅つき体験	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：295人 ・お餅つき、のし餅づくり ・昔のお正月遊び ・創作活動 鬼のお面づくり 竹柊、紙柊づくり	昔ながらの餅つきは家族連れに大変好評であった。創作コーナーも人が来て、充実した事業となった。	適
45 平成31年1月27日(日) ちびっこデイキャンプ3	対象：小1～小3 募集人数：30人 期間：日帰り	応募者数：35人 参加者数：128人 ・火起こし体験 ・野外炊事 ・楽器づくり	雪が残っている中での事業実施であった。予定通りに事業が実施され、さらに雪遊びの時間を設定できた。参加者の満足度も高い事業となった。	適
46 平成31年2月2日(土) ～3日(日) ハンターキャンプ	対象：小4～中学生 募集人数：40人 期間：1泊2日	応募者数：198人 参加者数：41人 ・様々な課題(ミッション)に挑戦	参加者が班で協力して様々なミッションをクリアし、助け合うことで団結力を高めていた。また、課題を解決する中で協調性を養うことができ、高評価を得た事業であった。	適
47 平成31年2月10日(土) ～11日(日) RED隊⑥ BIG○○作り	対象：小4～小6 募集人数：40人 期間：1泊2日	応募者数：46人 参加者数：38人 ・ふれあいの森の木の名札づくり 木の説明書づくり ・野外炊事	RED隊の隊員の多くが、ふれあいの森の木の名前を知らなかったため、計画を変更し、木を調べて名札を作るものとした。名札は、小中学校の自然教室に役立ったため、良い事業となった。	適
48 平成31年2月17日(日) 家庭の日応援プロジェクト2月 冬のオープンデー	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 期間：日帰り	参加者数：2,631人 ・大浴場解放、宿泊室見学 ・ツリハウス登頂体験 ・焼き芋づくり ・種ダンゴづくり 他	各団体との連絡調整がぎりぎりまでかかったが、西武造園株式会社らしいイベントも入り、来場者も多く、利用者アンケートでは満足度がとても高かった。	適
49 平成31年2月23日(土) ～24日(日) 家族でキャンプ (建物泊)	対象：家族 募集人数：40人 期間：1泊2日	応募者数：87人 参加者数：33人 ・キャンドルファイヤー ・焼き杉体験 ・野外炊事	家族で触れ合えるようにと実施したイベントであり、参加者同士は子どもを通じて交流を行っていた。スタッフ体制が不十分な場面もあったが、参加者は最後まで楽しむことができた。	適
50 平成31年3月2日(土) ～3日(日) わくわく自然探検隊②	対象：小3～中学生 募集人数：40人 期間：1泊2日	応募者数：22人 参加者数：22人 ・野鳥観察 ・バーコードリールづくり ・野鳥マップ作り	2日間とも晴天で野鳥観察を行うことができた。野外観察に出かける前に双眼鏡の使用方法や、野鳥の観察の仕方について講師からしっかりと説明があり、子ども達は興味を持ってフィールドワーク(野鳥観察)を行っていた。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
51 平成31年3月10日(日) RED隊8	対象：小4～小6 募集人数：40人 期間：日帰り	参加者数：40人 ・修了パーティー ・修了式	RED隊の終了の日は活動成果の発表として野外調理を行い、保護者をもてなした。子どもたちが手際よく調理・接待を行った。保護者も子どもたちの成長を目の当たりにできたことで満足度の高い事業となった。	適
52 平成31年3月17日(日) 家庭の日応援プロジェクト3月	対象：家族・一般 募集人数：なし 期間：日帰り	参加者数：103人 ・巣箱づくり ・ベリーダンス	巣箱を作ろうがテーマだったが、ベリーダンス目当ての参加者もいた。寒さと雨天のため暖房設備のある部屋への移動がスムーズに行われていた。	適
53 平成31年3月23日(土) ジュニアスタッフ研修③	対象：ジュニアスタッフ登録者 参加者固定：66人 期間：日帰り	登録者数：66人 参加者数：55人 ・野外炊事 ・ミニ運動会 ・1年間の振り返り	1年間の集大成として、親子で楽しむ運動会を企画・立案・実施した。自然の家のスタッフが、全ての企画・立案をしていたので、今後ジュニアスタッフが自ら考えて取り組みができる内容になることを期待したい。	適
54 平成31年3月24日(日) 山菜クッキング	対象：家族・一般 募集人数：60人 期間：日帰り	応募者数：137人 参加者数：55人 ・山菜のお話 ・山菜の天ぷらづくり	山菜の見分け方などを学び、自然の家周辺で山菜を採取した。その後、講師先生が事前を用意していた山菜を班単位で調理して食べた。この事業は、幅広い年代の参加者となり、参加者の満足度の高い事業であった。	適

#### 総合コメント

施設の設置目的に基づき、自然体験事業や人材育成事業が積極的に実施されました。スタッフの創意工夫のもと、バラエティ豊かなプログラムが提供され、参加者が少なくなる冬場も利用率を上げる努力を行い、利用者のニーズに合った事業を開催しました。また、応募型の事業について、募集人数を大きく上回る応募があった事業が幾つかありましたが、柔軟に対応した部分もあり、利用者の満足度を高めています。ジュニアスタッフが、事業の企画・運営に関わるが多くなり、宿泊事業や参加人数の多い事業については、職員だけでは目が行き届かない参加者の補助を行うなど、安全安心に活動ができるようにフォローをしていました。

平成30年度 少年自然の家及び水沢市民広場 設備・備品の維持管理状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	現地確認	毎月実施している調整会議のほか日常的に電話・メール等でも連絡を密に取っている	適
	記録	整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか	書面確認 現場確認	適切に保管されている	適
建築物保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書面確認 現場確認	建築定期点検を実施。適切に行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認 現場確認	適切に行われている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認 現場確認	速やかに行われている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	書面確認 現場確認	適切に実施されている	適
設備保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書面確認 現場確認	建築設備・昇降機・消防用設備・防火対象物点検を実施 適切に行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認 現場確認	適切に行われている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認 現場確認	速やかに行われている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	書面確認 現場確認	適切に実施されている	適
備品・什器等保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書面確認 現場確認	速やかに行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認 現場確認	適切に行われている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認 現場確認	速やかに行われている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	書面確認 現場確認	適切に実施されている	適
外構施設保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書面確認 現場確認	速やかに行われている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認 現場確認	適切に行われている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認 現場確認	速やかに行われている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	書面確認 現場確認	適切に実施されている	適

総合コメント

少年自然の家は、建築後、本館（昭和62年建築）は32年、分館（昭和48年建築）は46年経過しているため、経年劣化に伴う軽微な不具合について施設修繕の機会が増えています。専門性が高いものを除き、職員や作業員が修繕を行うことで経費削減に努めています。修繕の実施についても、緊急性の高いものは市担当課と電話などで協議を行い、工事を行うなど、常に情報交換や連絡を行い、完了報告や書類等は毎月開催する市と指定管理者との連絡調整会議において確認しています。



平成30年度 少年自然の家及び水沢市民広場 サービスの質 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
運營業務	使用許可、 利用料金の 徴収	スムーズに予約できたか	現地確認	適切に実施されている	適
		許可証は速やかに発行されたか	現地確認	適切に実施されている	適
	施設・利用 案内	行事開催案内の時期は適切か	書面確認	市広報、ホームページ及び募集チラシを確認 適切に実施されている	適
		ホームページは見易いか	ホームページ確認	適切に作成・更新されている	適
	受付・応対 業務	担当者の接客態度は良かったか	アンケート結果 及び現地確認	利用者アンケート結果「大変満足」「満足」を選択された割合良好である	適
		利用者に対する指導は適切であったか	アンケート結果 及び現地確認	利用者アンケート結果「大変満足」「満足」を選択された割合 適切に実施されている	適
		業務従業者は名札を着用しているか	現地確認	毎月の連絡調整会議において現地で確認 適切に実施されている	適
	運營業務	講座やイベントは満足できる内容であったか	アンケート結果 及び現地確認	利用者アンケート結果「大変満足」「満足」を選択された割合 適切に実施されている	適
維持管理 業務	施設・設備の 保守管理業務	施設が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認	適切に管理されている	適
		設備が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認	適切に管理されている	適
	清掃業務	トイレトペーパー、消毒用品、手洗い用石鹸は常に補給されているか	現地確認	適切に実施されている	適
		全体的（駐車場を含）に、見た目清潔に保たれているか	現地確認	適切に実施されている	適
	警備業務	避難経路には障害物がないか	現地確認	適切に実施されている	適
	外構・植栽 管理業務	機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	現地確認	適切に実施されている	適
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認	適切に実施されている	適
		樹木・花壇は見栄え良く管理されているか	現地確認	適切に管理されている	適
		草刈りや除草はされているか	現地確認	適切に実施されている	適
	環境衛生管理業務	快適に利用できる環境となっていたか	現地確認	適切に実施されている	適
	廃棄物処理業務	廃棄物は適切に分別が行われていたか	現地確認	適切に実施されている	適
備品管理業務	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認	適切に管理されている	適	

総合コメント

施設利用者及び主催事業参加者に施設利用等の満足度及び改善点のアンケート調査を行い、指摘及び要望については、職員間で情報共有し、速やかな対応に努めています。

施設管理については、業者に委託し、適切な管理に努めています。また、職員間で入念な打ち合わせを行うことによる準備、現場状況の的確な把握により、サービスの質の向上に努めています。